

# FT-IR (6200FV) 分析事例③

## ～拡散反射測定法～

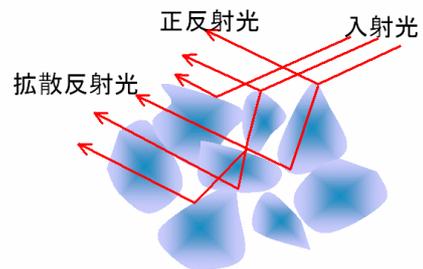
目的：粉体状態のまま拡散反射測定を行い、透過スペクトルと比較する。



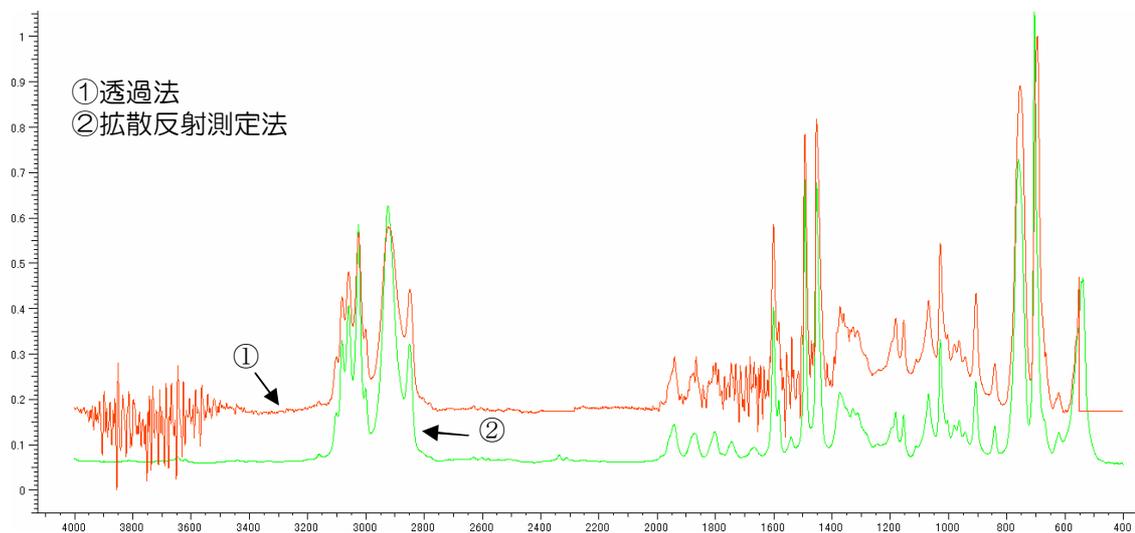
拡散反射法：粉体に赤外光を照射すると、粉体表面での正反射光と粉体内部からの拡散反射光が得られる。このうちの拡散反射光を用いてスペクトルを解析する方法。前処理が簡単であり、表面吸着物質に対する知見が多く得られる



ポリスチレン粉末



従来の顕微タイプFT-IRでは対象面積(約 $50\mu\text{m}$ )が小さく、平均値が分かりづらいが、拡散反射法は粉体全体の平均値が得られる。



測定結果：透過法と拡散反射測定法では、拡散反射法の方がノイズの少ない安定したスペクトルが得られる。